

地方創生関係交付金等の効果検証について（説明資料）

1. 地方創生推進交付金及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の趣旨

地方創生推進交付金は、「地方版総合戦略」に位置付けられた自主的・主体的で先駆的な事業円滑な実施を支援することを目的としています。本市では、平成30年度において、地方創生推進交付金を活用した事業（以下「交付金事業」という。）として3事業を実施しました。

地方創生応援税制は、地方創生の取組を更に加速させていくため、地方公共団体が行う地方創生事業に対して法人からの寄附を促す制度です。本市では、平成30年度において、3事業について寄附を募集しました。

2. 効果検証の目的

交付金事業を実施する地方公共団体は、地方創生推進交付金制度要綱第11「効果の検証」の規定により、事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI ※1））を設定し、その達成度について毎年度検証が必要とされており、効果検証では、学識経験者等の第三者に意見を求めるよう努めることとされています。また、地方創生応援税制を活用した事業についても、同様の効果検証が必要とされています。本市においては、交付金事業3件、地方創生応援税制を活用した事業3件が効果検証の対象となることから、第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会において効果を検証します。

※1 KPI : Key Performance Indicatorの略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

3. 効果検証までの流れ

(1) 懇談会の事前準備について

当日の議事進行を円滑にするとともに、充実した審議をしていただくため、委員のみなさまに下記資料を事前に送付いたしますので、内容等を御確認ください。

種別	送付資料名	概要
別添1-2	地方創生推進交付金 効果検証用資料	効果検証の対象となる事業の一覧です。 当日の会議資料になりますので、御持参ください。
別添1-3	地方創生応援税制効果 検証資料	
別添1-2 補足資料	地方創生推進交付金 効果検証用補足資料	効果検証の対象となる事業について、補足説明した資料です。 当日の会議資料になりますので、御持参ください。
別添1-3 補足資料	地方創生応援税制効果 検証用補足資料	
別添1-4	地方創生関係交付金 等回答表	送付した上記の効果検証用資料及び補足資料の内容を御覧いただき、内容等について御意見・御質問がある場合は、本回答表に御記入のうえ御提出ください。お寄せいただいた質問は、懇談会当日に回答します。

・提出期限：令和元年8月13日（火）→FAX又はメールで回答

・特に御意見・御質問が無い場合は、提出は不要です。

※報告様式(ワード形式)のデータが必要な場合は、高松市政策課(TEL:087-839-2135)へ、その旨御連絡ください。

(2) 懇談会当日の進行方法について (8月27日開催)

委員の方から事前にいただいた意見や質問などを参考に、交付対象事業が総合戦略のKPI達成に有効・無効などを協議し、懇談会としての効果検証を行います。

4. 事前送付資料について

事前に送付した資料は、下記内容となっています。

□別添1-2、1-3

効果検証用の参考資料です。懇談会当日に御持参ください。

なお、別添1-2の補足資料を添付しています。地方創生関連交付金に関する効果検証を行う際に、補足事項も御参考にしてください。

地方創生関連交付金 効果検証用資料											別添 1-2							
No	交付金の区分	交付対象事業の名称	事業の概要：交付金を充てる経費内容	交付額(千円)	交付対象事業費(千円)	予算区分	事業開始年月	事業終了年月	本交付金事業における重要業績評価指標 (KPI)				総合戦略の関連項目					
									指標	指標値(A) ※目標年月(C)における目標値	実績値(B)	目標値(C)	達成度(B/A)	総合戦略 戦略テーマ・施策番号 具体的な施策 【指標の説明】	当初値 H26年度 実績	H27年度 実績	現状値 H28年度 実績	目標値 H31年度
1	活性化交付金	まちなかアートで美でる地方創生推進事業 【別添1-2 補足資料P1~2 参照】	アートによる集客イベントを実施することで、芸術祭に訪れる観光客はもとより、市民に対して、商店街の新たな魅力と活力を発信し、商店街の賑わい(集客)を増進させていくものであり、さらに観光客の満足度向上と移住・定住促進に寄与するものである。また、文化芸術などの持つ創造性を活かしながら、各種イベントに働きかけることにより、新たな観光資源として認知され、観光客だけでなく、字北から大人、高齢者、そして、障がい者まで広く地域住民の参画・交流を促すことにより、「一應総活躍社会」の実現と地域住民の絆の強化・深化を図り、地方創生の推進につなげていくものである。	30,524	30,524	H27(補正)	H28.3	H29.3	地域に出向いての文化芸術活動(アウトリーチ事業)の参加者数(A)	68,000	103,549	H29.3	152,000	112-1-2-① 文化芸術活動の推進(人) アウトリーチ事業の参加者数	67,757	98,480	103,549	75,000
									中央商店街の空き店舗率(%)	17	17.7	H29.3	104.3	119-1-1-① 中央商店街の活性化(%) 中央商店街の空き店舗率	17.2	17	17.7	14.9
									中央商店街歩行者通行量(A)	120,000	130,566	H29.3	108.8	135-5-5-③ ムリ・女性情報発信による 回遊促進(人) 中央商店街の歩行者通行量	118,731	128,857	130,566	141,000
									高松市移住ナビ(ホームページ)開設件数	10,000	7,491	H29.3	74.9	118-2-2-① 移住促進(人) 高松市移住ナビ(ホームページ)開設件数	9,629	4,797	7,491	13,000

今回の懇談会(第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会)で、効果検証の対象となる事業(地方創生関連交付金等で実施した事業)の一覧が確認できます。

総合戦略の重要業績評価指標(KPI)が確認できます。

□別添1-4

効果検証対象事業に対する御意見・御質問がある場合は、下記内容を御記入のうえ御提出ください。

地方創生関連交付金等 回答表 別添 1-4

・別添 1-2、1-3 を御確認いただき、内容等について御意見・御質問がある場合は、下記に記載し御提出ください。
 ・提出期限：8月13日(火)まで
 ・提出方法：高松市政策課へ FAX (087-839-2125) 又は電子メール (seisaku@city.takamatsu.lg.jp) で御回答願います。
 ※報告様式(ワード形式)のデータが必要な場合は、高松市政策課 (TEL:087-839-2135) へその旨御連絡ください。
 ・特に御意見・御質問が無い場合は、提出は不要です。
 ・お寄せいただいた質問は、懇談会当日に回答いたします。

		委員名		様	
交付金等の区分	No	懇談会委員(外部評価者)の交付対象事業への意見・質問欄			
		名称	区分	意見・質問	
推進交付金	1	「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進	<input type="checkbox"/> 有効と考えた理由 → <input type="checkbox"/> 有効と考えなかった理由 → <input type="checkbox"/> 質問 →		

効果検証対象事業への御意見がある場合、下記の要領で御記入ください。

- ① 交付対象事業(※1)が総合戦略の KPI(※2)達成に有効であったと考える場合
→ 区分欄の「有効と考えた理由」をチェックし、評価した点などを御記入ください。
- ② 交付対象事業(※1)は総合戦略の KPI(※2)達成に有効と考えなかった場合
→ 区分欄の「有効と考えなかった理由」をチェックし、良くなかった点、原因、改善策などを御記入ください。

地方創生推進交付金 効果検証用資料

別添 1 - 2 (推進交付金)

交付金の区分	No	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	事業の概要：交付金を充当する経費内容	交付額(千円)	交付対象事業費(千円)	予算区分	事業始期年月	事業終期年月	本交付金事業における重要業績評価指標 (KPI)					総合戦略の関連項目						
										指標	指標値(A) ※目標年月(C)における目標値	実績値(B) H30年度	目標年月(C)	達成度(B/A)	■総合戦略 登載ページ・施策番号 具体的な施策【指標の説明】	当初値 H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	現況値 H30年度実績	目標値 R1年度
推進交付金	1	「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業 【別添1-2-1補足資料】	「たかまつ移住応援隊」との連携による情報発信を始めとする各種活動を軸として、市民や企業とも連携し、各種相談会や就業・起業に関する支援、地域社会との関係づくりなどに取り組むことにより、多くの移住者を本市に呼び込むとともに、その移住者が定着し、活躍できる環境づくりを行う。 また、地域おこし協力隊の活動や移住者を対象とする家賃等補助事業を、本事業と連携させながら実施することにより、効果的かつ一体的に、本市への移住・定住促進を図るものとする。	1.「たかまつ移住応援隊」を軸とした、SNS等による情報発信、移住者との相談会、首都圏での移住相談会、移住体験ツアー等の実施 2.企業や経済団体等との連携による、就業・起業に関する情報発信や継続的な支援 3.地域団体等との連携による、移住者が地域社会に溶け込み活躍できるための継続的な支援	7,345	14,690	H30	H29.5	R2.3	「たかまつ移住応援隊」の関わる取組を利用したことのある移住世帯数増加分 (単位：世帯)	30	31	H31.3	103%	■ P18 2-2-① 選ばれる地域づくりの推進 (件) 【高松市移住ナビ(ホームページ)閲覧件数】	9,629	4,797	7,491	5,144	35,735	13,000
	2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策 【別添1-2-2補足資料】	「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽文化を国内外に普及・定着させ盆栽の振興を図るため、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化に加え、④「高松盆栽の郷」づくりによる地域のブランド化の確立に向けた総合的な支援を実施する。具体的には、地域が有する地域資源を活用し、産地を訪れる愛好者や観光客に盆栽の文化や歴史、魅力を伝えるため、盆栽園を巡るコースの散策や体験、研修などの取組みを行うとともに、ビジターセンターの機能を有する拠点施設の整備を行う。基本構想の実現を図るため、また、将来的な自立運営を見据え、生産者との連携により、人格を持った法人を設立し、運営体制を整備するとともに、産地をコーディネートできる人材を育成する。	1.国内需要の拡大 2.輸出の拡大 3.産地基盤の強化 4.「高松盆栽の郷」づくり	6,446	12,892	H30	H29.5	R4.3	盆栽輸本数増加分 (単位：本)	100	100	H31.3	100%	P11 1-1-⑥ 特産品の育成・振興 (人) 【販路開拓事業等来場者数】	17,600	38,016	19,421	19,391	18,832	20,600
										盆栽を生産する認定農業者数増加分 (単位：人)	1	0	H31.3	0%							
										盆栽販売額増加分 (単位：千円)	2,560	2,560	H31.3	100%							
	3	共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業 【別添1-2-3補足資料】	東京オリンピック・パラリンピックに向け、国が新設した、共生社会ホストタウンへの登録を契機として、ユニバーサルデザインマップ及び啓発グッズを活用して、ユニバーサルデザインのまちづくりの更なる推進を図る。	1.ユニバーサルデザインマップの運用 2.ユニバーサルデザイン啓発事業 3.ユニバーサルデザイン啓発映像の活用 4.共生社会ホストタウン登録を契機とした、ソフト事業の実施	5,678	11,356	H30	H30.8	R3.3	ユニバーサルデザインマップの登録件数(件)	350	771	H31.3	220%	P28 4-1-② ユニバーサルデザインの普及・啓発 (人) 【小学生用パンフレット配布数】	9,500	13,784	18,282	22,514	26,769	33,000
										ユニバーサルデザイン啓発映像を活用した授業回数(回)	0	0	H31.3	-							
										小学生用パンフレット配布数(人)	4,750	4,255	H31.3	90%							
										香川県の延宿泊者数(万人)	369	405	H31.3	110%							

事業名	概要	実績
たかまつ移住応援隊	移住経験者である3人の「リーダー」を中心に、「一般サポーター」や、「専門サポーター」が協議・連携し、移住（希望）者への情報発信や、移住促進事業へ先輩移住者として参加し、相談対応するなど幅広いサポートを行っています。	18人、39団体登録 (H31.3.31時点)
首都圏交流会	高松市に関する各種情報を得られる機会や、具体的な相談に対応する機会を提供し、移住に関する不安や心配事を緩和することで、本市への移住を促進する。	H30.6.23開催 場所：東京 参加者：37組38人
瀬戸・たかまつ移住 & キャリアサポートセンター	本市への移住や就職に関する相談窓口として移住アドバイザーにより、就職相談や市内求人情報の提供等を行うほか、首都圏の大学への訪問を行うなど、移住やUターン就職を促進する。	H30.6.30開設 場所：東京 相談件数：106件
たかまつ移住・起業応援プロジェクト	首都圏に居住する起業志向の移住希望者に対して、起業に関するノウハウなどの各種情報の提供などの支援を行い、新たな人材を呼び込み、地域活力の向上等を図る。	H30.9.1開催 場所：東京 参加者：24組24人
移住体験ツアー	高松市の気候や風土を肌で感じることができる機会を提供するとともに、先輩移住者との意見交換や交流の機会を提供することにより、本市への移住に向けての動機づけにつなげる。	H30.10.13～15開催 場所：市内一円 参加者：5組5人
市内移住者交流会	移住者同士の気軽な話し合いや、移住応援隊リーダーなどの先輩移住者に相談することができる市内移住者交流会。	H31.1.26開催 場所：IKODE瓦町 参加者：6組9人

「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業による取組

首都圏交流会
(H30.6.23開催)



場所: 東京
参加者: 37組38人

市内移住者交流会
(H31.1.26開催)



場所: 市内 (IKODE瓦町)
参加者: 6組9人

たかまつ移住応援隊 (H29.5設置)



18人、39団体登録
(H31.3.31時点)

たかまつ移住・起業応援
プロジェクト
(H30.9.1開催)



場所: 東京
参加者: 24組24人

瀬戸・たかまつ移住 & キャリア
サポートセンター
(H30.6.30開設)



場所: 東京

移住体験ツアー
(H30.10.13開催 2泊3日)



場所: 牟礼地区ほか
参加者: 5組5人

「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策

平成30年度実施事業

事業名	概要
1. 高松盆栽PR事業	PR資材の作成支援（チラシ・パンフレット・のぼり他）
2. 盆栽新商品コンテスト事業	新たな盆栽スタイルの提案
3. 盆栽広告掲出事業	モルルールに盆栽PRポスターを掲出
4. 国外盆栽持ち帰りシステム構築支援事業	国外観光客がお土産として盆栽を持ち帰れる体制整備を支援
5. 盆栽産地担い手確保・育成支援事業	後継者育成体制の整備
6. 盆栽生産流通基盤整備対策事業	輸出用を含む盆栽管理・展示・販売機能の整備に対する支援
7. 研修施設整備事業（建築設計）	国内外からの研修生を受け入れる施設を整備
8. 高松盆栽公式HP情報発信支援事業	高松盆栽のホームページの運営費を支援
9. 高松盆栽の郷ツーリズム推進事業	高松盆栽の郷企画旅行業者モニターツアーの開催

1. 高松盆栽 P R 事業 (法被、のぼり)



3. 盆栽広告掲出事業（掲出証明書）



平成30年9月30日

掲出証明書

広告主	高松市
広告内容	高松市の観光PR
媒体名	東京モノレール まど上ポスター
掲出場所	車内
掲出期間	平成30年9月1日から平成30年9月30日
サイズ・規格	B3
掲出枚数	114枚
備考	

上記のとおり掲出したことを証明いたします。



16

東京都港区芝大門一丁目4番8号
株式会社モノレール・エージェンシー
代表取締役社長 小池 康 隆 印

4. 国外盆栽持ち帰りシステム構築支援事業（報告書抜粋）

平成30年度 盆栽持ち帰りシステムの構築支援事業報告書

1. 実施日時 平成30年11月～平成31年3月
台湾調査 平成31年3月24日～26日
2. 実施場所 高松市、台湾
3. 目的 海外からの観光客が盆栽をお土産として持ち帰る仕組みを構築し、盆栽の輸出拡大による産地の活性化を図る。
4. 実施内容 台湾からの観光客が盆栽をお土産として持ち帰る「持ち帰り盆栽」の仕組み作りのため、植物検疫の確認や輸送試験を実施し検疫条件の確認、到着先での品質調査等を行った。
5. 従事者 尾路 悟（台湾調査員）、中西 陽一、松田 三男、北谷 隆一

6. 調査項目

1) 台湾に輸出する盆栽の植物検疫手続き

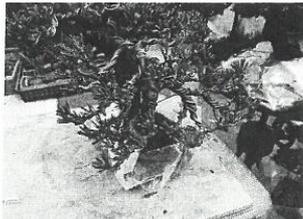
【ケース1】：盆栽の植物検疫を盆栽生産者が行う場合

検査機関：神戸植物防疫所坂出支所

検査申請者・場所：盆栽生産者・盆栽園

対象盆栽：松、真柏(検査事項：土の付着、病害虫の有無)

対象者	内 容
海外観光客	海外観光客が盆栽を購入
盆栽生産者	<ul style="list-style-type: none"> ○坂出植防に輸出植物を検査申請する。 (「植物等輸出検査申請書」、「パッキングリスト」、「インボイス」をFAXする) ○輸出盆栽の根洗い・ミズゴケ等で梱包 ○植物防疫所の検査を受検 合格すれば「植物検疫証明書」が即時発給される。 ○盆栽を台湾の盆栽園に送る
検査後の対応	・検査済みの盆栽を台湾に送り、台湾の盆栽園が台湾空港で盆栽を受け取る。鉢上げて活着後に、海外観光客宅に送る。



植物検疫官が根洗いしてミズゴケで包んだ盆栽の根に土が残っていないか、病害虫がないか検査

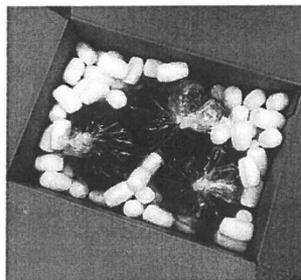
【ケース2】：海外観光客が購入した盆栽の植物検疫を自ら行う場合

検査機関：神戸植物防疫所坂出支所

検査申請者・場所：海外観光客・高松空港

対象盆栽：松、真柏(検査事項：土の付着、病害虫の有無)

対象者	内 容
海外観光客	海外観光客が盆栽を購入
盆栽生産者	<ul style="list-style-type: none"> ○坂出植防に輸出植物を検査申請する。 (「植物等輸出検査申請書」、「パッキングリスト」、「インボイス」をFAXする) ○輸出盆栽の根洗い・ミズゴケ等で梱包 ○高松空港荷物カウンターに輸出盆栽を送る。
海外観光客	<ul style="list-style-type: none"> ○高松空港荷物カウンターで盆栽を受け取る。 ○高松空港の防疫事務所にて検査を受検（事前予約必要） 合格すれば「植物検疫証明書」が発給される。 ○搭乗手続き
海外観光客	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾空港にて、入国手続き後、植物検疫・関税手続き ・根洗った盆栽を自ら鉢上げる。



根洗いしてミズゴケ包んだ盆栽を段ボール箱に詰めて、緩衝材で保護する。

【ケース3】：海外観光客が購入した盆栽の植物検疫を自ら行う場合

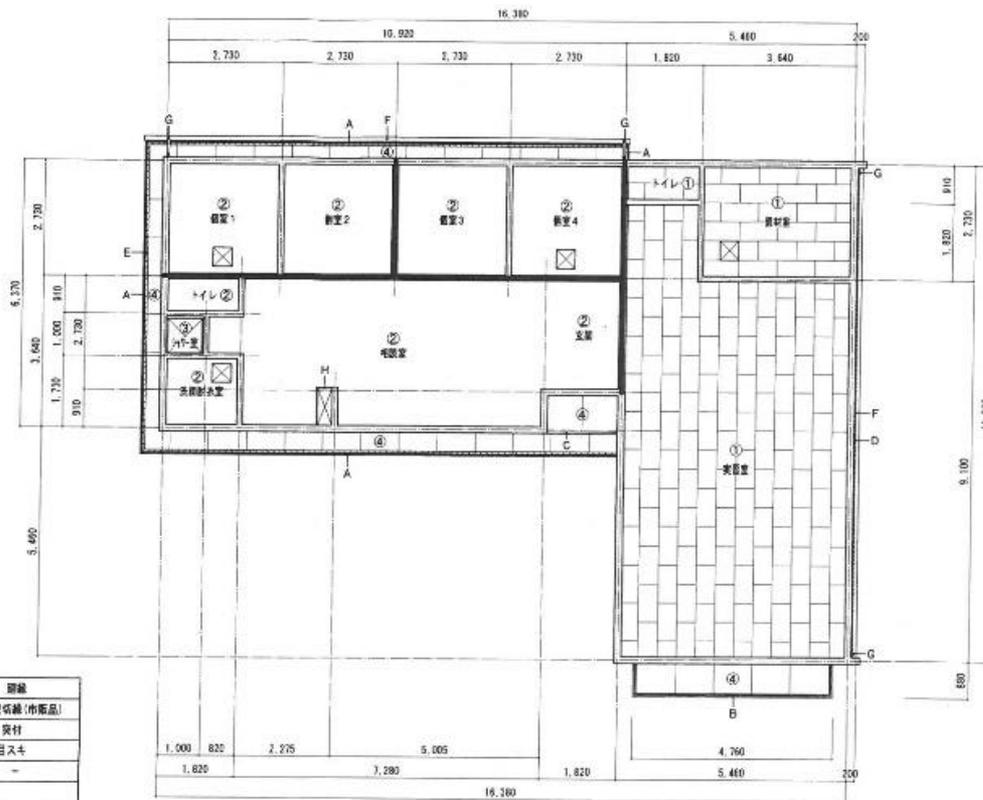
検査機関：神戸植物防疫所関西空港支所（3月24日調査）

検査申請者・場所：海外観光客・関西空港

対象盆栽：松、真柏(検査事項：土の付着、病害虫の有無)

対象者	内 容
海外観光客	海外観光客が盆栽を購入
盆栽生産者	○植物防疫所に輸出植物を検査申請する。 (「植物等輸出検査申請書」、「パッキングリスト」、「インボイス」をFAXする)

7. 研修施設整備事業 (建築設計)



凡例

記号	仕上	下地	部材
①	化粧石膏ボード 9. 6t	本透天井下地盤	両面壁紙切縁(市販品)
②	ビニールクロス	本透天井下地盤+石膏ボード 9. 5t	突材
③	N A D	本透天井下地盤+ウイダル板 6t	目スキ
④	—	本透天井下地盤	—
A	扉隠し、破風板：防火破風板(市販品)		
B	扉隠し、破風板：本下地+ガルバリウム鋼板 0. 4t(カラー)巻き		
C	オーバーハング水切：ガルバリウム鋼板 0. 35t(カラー)市販品		
D	通気見切縁：ガルバリウム鋼板 0. 35t(カラー)市販品		
E	軒天換気材(野先タイプ)：ガルバリウム鋼板 0. 35t(カラー)市販品		
F	軒樋：塩ビ製 角樋(受金物共)市販品、上合(×4)		
G	壁樋：塩ビ製 角樋(受金物共)市販品		
H	幕板：システムキッチン工事(設備工事)		
⊗	A：天井身開口 450角 4ヶ所(位置は、監督員の指示により決定)		
—	通気見切縁：ガルバリウム鋼板 0. 35t(カラー)市販品		
—	耐火上主要な断仕切壁：P. B 15t(両面)小壁裏まで準上げ		

※ ①+②+④=天井断熱材設置範囲を示す。

天井伏図 1/100

工事名	(株)益哉の匠研修所新築工事	製図	核図
図面名	天井伏図	縮尺	S=1/100 図番 A-10

共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業

《平成30年度の主な実績》

1. たかまつユニバーサルデザインマップの作成

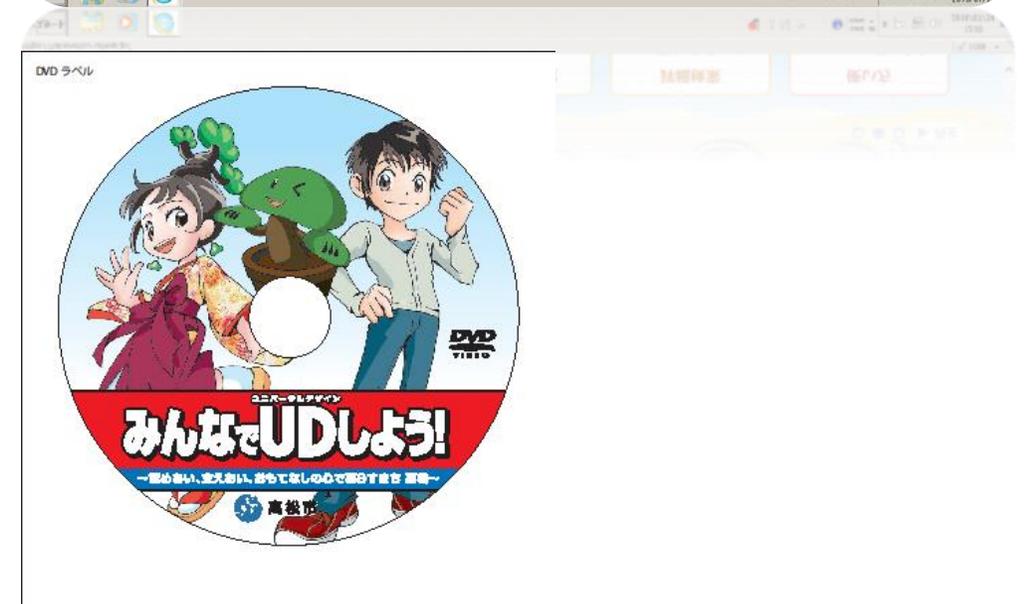
誰もが安心して快適に暮らすことができるユニバーサルデザインのまちづくりをすすめることを目指し、公共施設等のバリアフリー情報や多言語対応の情報等を掲載した「たかまつユニバーサルデザインマップ」を作成し、平成31年3月26日公開しました。スポーツ施設やコミュニティセンターなどの公共施設のほか、駅やフェリー乗り場、小売店、宿泊施設などを掲載しています。

施設登録771件（平成31年3月時点）

2. ユニバーサルデザイン啓発映像の作成

誰もが安心して快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくりを実現するため、ユニバーサルデザイン啓発映像「みんなでUDしよう！～認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松～」を作成しました。

- 1.市内小中学校に配布しました。
- 2.コミュニティセンター等に随時貸出を行います。



特徴 1 操作や内容が直感的に分かりやすい

- 「かんたん検索」「地図から検索」で容易に検索
- ピクトグラムによる施設情報の表示

特徴 2 心のユニバーサルデザイン情報を掲載

- 手話・筆談等への対応や多言語対応などを掲載
- スタッフへの介助依頼など設備を伴わない、心のユニバーサルデザイン情報の発信

特徴 3 広域的なユニバーサルデザイン情報を発信

- 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の施設を掲載
- 中枢中核都市として、圏域全体のUD機運を醸成

トップページ



たかまつユニバーサルデザインマップ
TAKAMATSU UNIVERSAL DESIGN MAP

翻訳 言語を選択 | 垂直 ふりがなをつける | よみあげる

文字の大きさ 大きく 標準 小さく 背景色 標準 青色 黒色

ユニバーサルデザインマップを使って、『UD』onのまちに出かけよう！

すべての人が安心して快適に外出できるように、瀬戸・たかまつエリアの施設におけるユニバーサルデザイン情報を掲載しています。

瀬戸・たかまつエリアとは・・・瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の3市5町（高松市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町）を指します。

高松市 さぬき市 東かがわ市 土庄町
瀬戸・高松広域連携中枢都市圏
小豆島町 三木町 直島町 綾川町

キーワード検索
施設名・住所などを
入力して検索します

かんたん検索
だれが・なにをする・
どこで、で検索します

地図から検索
地域や分類から
検索します

詳細検索
詳細な条件で
検索します

使い方
このサイトの使用方法を
説明します

○大きなアイコンで分かりやすく、操作しやすい

かんたん検索

だれが（対象者）、なにをする（目的）、どこで（場所）の項目を選択して検索することができます。
それぞれの項目は複数選択が可能です。

だれが（対象者）

 車いすを使う方	 見えにくい方	 聞こえにくい方	 オストメイト	 子ども連れの方	 多言語対応希望の方	 誰でも
--	---	--	---	--	--	--

なにをする（目的）

 遊ぶ	 食べる	 見る	 買う	 泊まる	 暮らし	 その他
---	--	---	---	--	--	--

どこで（場所）

高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
-----	------	-------	-----	------	-----	-----	-----

どこで（場所）は瀬戸・たかまつエリアを対象としています。
詳しくは瀬戸・高松広域連携中核都市圏ポータルサイトをご覧ください。

検索

○ 「だれが」「なにをする」「どこで」で容易に施設検索

検索する人の状況に応じて、施設に求める機能や、お出かけの目的、地域などから、簡単に検索可能。

より詳細な施設種別やUD設備の有無で検索したい場合には、「詳細検索」画面で、条件を細かく指定して検索することも可能。

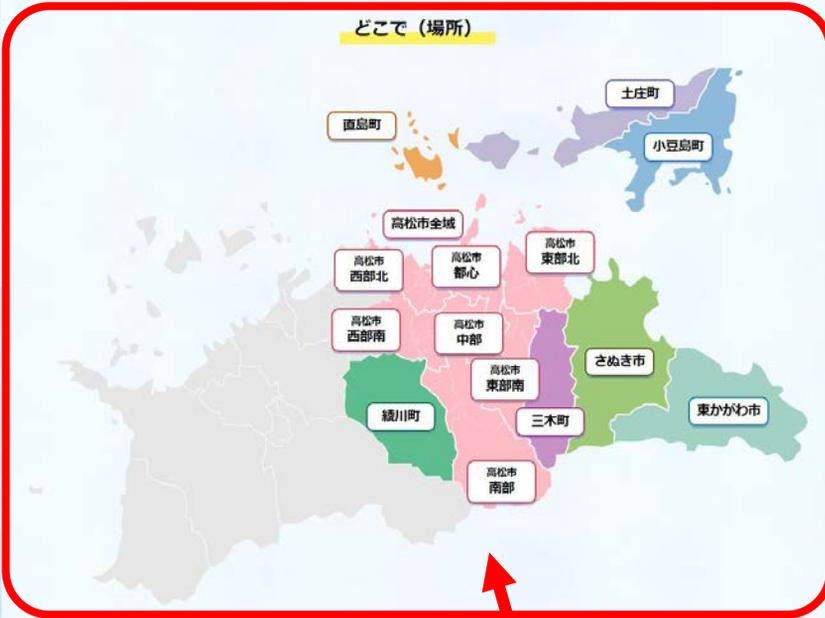
「地図から検索」画面

HOME > 地図検索

地図検索

検索したい地域を選択してください。
対象地域は瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の市町となります。
詳しくは瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトをご覧ください。

どこで (場所)



だれが (対象者)



なにをする (目的)



○地図から調べたい地域を検索

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の地図から、調べたい地域を選んで検索可能。

たかまつ
ユニバーサルデザインマップ
TAKAMATSU UNIVERSAL DESIGN MAP

HOME > 検索結果一覧

翻訳 言語を選択 ▼ 読みがなをつける 読みあげる

文字の大きさ 大きく 標準 小さく 背景色 標準 青色 黒色

高松市中央図書館
たかまつしちゅうおうとしよかん

印刷する

基本情報

施設名称	高松市中央図書館
営業時間（業務時間）	通常：平日は9時30分から19時まで その他：土・日・国民の休日は9時30分から17時まで
休日等	月曜日(休日の場合翌日)、月末(土・日・国民の休日は除く)、年末年始(12月29日から1月3日まで)、資料特別整理期間(9月中の7日程度)
所在地	高松市昭和町一丁目2番20号 サンクリスタル高松1階、2階
電話番号	087-861-4501
FAX番号	087-837-9114
ホームページアドレス	http://library.city.takamatsu.kagawa.jp/index.asp

施設情報

駐車場

車いす使用者用
駐車施設等
2台

出入口

有効幅90センチメートル以上

自動ドア

点字ブロック

段差なし

飲食スペース

車いす使用者対応テーブル席

廊下等

点字ブロック

有効幅120センチメートル以上

段差なし

階段

点字ブロック

手すり

車いす使用者対応エレベーター

エレベーター

トイレ

多機能トイレ

性別に関係なく誰でも利用できる表示のあるトイレ

車いす使用者対応トイレ

車いす使用者対応洗面台

オストメイト用設備

幼児用小便器

洋式便器

○ピクトグラムで分かりやすい施設情報

ひと目で必要な情報が理解できるように、施設のユニバーサルデザイン情報をピクトグラムで表示。

「施設詳細」画面（下部）

○心のユニバーサルデザイン情報

「手話・筆談等での対応」や「スタッフへの介助依頼」など、心のユニバーサルデザイン情報を掲載

授乳室



授乳室

施設案内等の多言語対応



英語

手話・筆談等での対応



筆談

その他



スタッフへの介助依頼



車いす貸出
4台



ベビーカー貸出
2台

施設画像



外観



1階身障者トイレ



授乳室



身障用駐車場

フロア案内図

フロア案内図をダウンロードする[PDF: 307KB]

地図



○近隣施設のUD情報も簡単表示

検索した施設周辺のUDマップ掲載施設が地図上に表示されるため、ついでの寄り道にも便利。

(本発表のお問い合わせ先)
ユニバーサルデザイン推進室
広報資料取扱主任：小川 雅彦
電話 087-839-2141

【市長定例記者会見】

ユニバーサルデザイン啓発映像「みんなでUDしよう！」を作成しました！

本市では、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、全国に先駆けて共生社会ホストタウンに登録されたことを受け、ユニバーサルデザインのまちづくりの更なる推進に向け取り組んでおります。

この度、ユニバーサルデザイン啓発映像「みんなでUDしよう！ ～認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松～」を作成しました。

1 映像の内容

(1) ドラマ編

盆栽の妖精"なお"とたけしくんが、高松のまちのユニバーサルデザインを探し、一番大切なユニバーサルデザインは心の中にあることに気づくストーリー。



私は、盆栽の妖精"なお"。
いつも水やりをしてくれているおじいさんが、ケガをしてしまったの。おじいさんがお出かけするにはどうしたらいいの？



盆栽ちゃんにヒントをもらって、高松のまちのユニバーサルデザインを探すことに！



まちの中にユニバーサルデザインはどれくらいあるのかな。みんなで見つけよう！

(2) クイズ編

身近な題材を使って、クイズ形式でユニバーサルデザインの原則を説明。

2 スタッフ

脚本・監督・編集：香西 志帆
主演：大里 菜桜（たか松BONSAI大使）

3 映像の使用方法

今後、市内の小中学校にDVDを配布いたします。

授業等で活用していただき、子どもたちにユニバーサルデザインの考え方や心のユニバーサルデザインを啓発していきます。

地方創生応援税制関連 効果検証用資料

別添 1 -3(地方創生応援税制)

区分	No	本制度を活用する事業	事業の概要：目的	事業内容	対象事業費 (千円)	寄附額 (千円)	予算 区分	事業 始期 年月	事業 終期 年月	本制度を活用する事業における重要業績評価指標 (KPI)					総合戦略の関連項目						
										指標	指標値 (A) ※目標年月 (C)における 目標値	実績値 (B) H30	目標 年月 (C)	達成度 (B/A)	■総合戦略 登録ページ・施策番号 具体的な施策 【指標の説明】	当初値 H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	目標値 R1年度
（地 方 企 業 創 業 生 産 支 援 税 と 納 税）	1	子ども未来館わくわく体験事業 【別添1-3-1補足資料】	子ども未来館において、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供し、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長を資するものであり、子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図り、子どもを生き育てやすいまちを創ることにより、出生率の向上を目指し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。	・公募プログラム ・子ども未来館まつり	2,550	250	H30	H29.4	R2.3	子ども未来館来館者数 (人)	3,800	5,550	H31.3	146%	P20 3-1-② 健やかな成長を促す学びへの支援 (施設) 認定子ども園数	1	3	5	9	17	12
		合計特殊出生率 (%)	1.62	-	H31.3	-															
	2	サンポート高松トライアスロン大会開催事業 【補足資料なし】	現在開催しているサンポート高松トライアスロン大会（一般参加）と合わせて、平成29年度から世界トップアスリートだけが参加するエリート部門を開催するものであり、トップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供し、さらなる市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加（する・見る・支える）する動機付けに繋げ、スポーツの振興を図るほか、多くの外国人選手、外国人観光客の受け入れ、交流人口の拡大を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることにより、人口減少を抑制することを目的とする。	サンポート高松トライアスロン大会開催事業	26,870	0	H30	H29.4	R2.3	サンポート高松トライアスロン来場者数 (人)	30,000	西日本豪雨の影響により中止	H31.3	-	P15 1-4-① 観光資源の活用と創出 (%) 香川県への再来訪意向割合	48.2	17.9	34.3	35.5	28.9	54.8
										社会体育施設利用者数 (人)	2,372,000	2,007,396	H31.3	85%	P13 1-3-① 市民スポーツ活動の推進 (人) 社会体育施設利用者数	1,983,195	1,935,838	1,861,146	1,975,527	2,007,396	2,591,000
3	高松産ごじまん品6次産業化等支援事業 【別添1-3-3補足資料】	本市農業の6次産業化や農商工連携を促進し、農産物の高付加価値化とブランド化を図るため、高松産ごじまん品の「新たな加工品やサービスの開発」に対して補助金を交付し、農業者等のチャレンジの実現をサポートするものであり、地域を支える産業の振興と経済の活性化を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることにより、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。	ごじまん品等について、6次産業化又は農商工連携の取組みにより販売等を目的として、新たに加工品の開発・サービスの提供等を行う事業に対する補助	2,000	250	H30	H29.4	R2.3	農産物販売額 (億円) (高松産ごじまん品主要7品目におけるJA取扱金額)	12	13.3	H31.3	111%	P11 1-1-⑥ 特産品の育成・振興 (人) 販路開拓事業等来場者数	17,600	38,016	19,421	19,391	18,832	20,600	
									認定農業者数増加数 (経営体) ()内は全数	2 (318)	7 (315)	H31.3	350%								■P10 1-1-④ 生産体制の整備 (経営体) 【認定農業者数】

平成30年度

こども未来館 わくわく体験事業イベント一覧

開催時期	開催日	イベントタイトル	参加人数
夏	8/18～19	わくわくワークチャレンジinたかまつミライエ	603
秋	9/16～17	こども忍者展 ～忍びの里ミライエで修行の巻～	1,140
開館記念日	11/23	こども未来館まつり2018 作って体験！「びっくり！」「ふしぎ！」 「おもしろい！」	744
冬	12/22～23	想像！創造！大変身！ 身近なものをアートに!!	942
春	3/23～24	サクラサクミライエ	496
通年	年間10回	親子で楽しむ「手作り遊び縁日」など	1,625
合計			5,550

参加
無料

対象：小学生

わくわく職業体験2日間

in たかまつミライエ

とき

2018年 8月18日・19日

ところ

高松市ごども未来館
たかまつミライエ
高松市松島町1丁目15-1

両日 10:00～16:00 (9:30開場)



いろいろな仕事が体験できる わくわく職業体験2日間!

1

わくわく職業体験ブース

12業種の中から好きな仕事を選んで体験しよう!

目

保護者向けセミナー

8/18
土

ポジティブシャワーで子どもが目覚める!
夢に向かってやり抜く力を育てるために

2

かがやく夢授業ブース

将来の夢をどうやって叶えるのか
わかりやすく教えます

4

保護者向けセミナー

8/19
日

今日から家族が変わる! 夢を育む力を伸ばすために

共同開催 高松市ごども未来館・公益社団法人 高松青年会議所

後援 四国新聞社、朝日新聞高松総局、読売新聞高松総局、産経新聞高松支局、毎日新聞高松支局、高松リビング新聞社、NHK 高松放送局、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、FM 香川、FM815、CMS ケーブルメディア四国、香川経済レポート社 (順不同)

～忍びの里ミライエで修行の巻～

こども 忍者展

2018年

9 / 16・17 10時～16時

日

月・祝

★対象 小学生以下
★高松市こども未来館1階 多目的室

参加
無料

挑戦してみよう! こども忍者道場



忍術その1

秘密の通路を
探すのじゃ!

城内に隠された秘密の通路を
見つけよう!



忍術その2

忍者は音を
たてるべからず!

城内には仕掛けがいっぱい!
音をたてずに進めるかな!?



忍術その3

壁を伝って
忍び込むのじゃ!

狭い足場を壁伝いに進んで
みよう!



忍術その4

手裏剣を
使いこなすのじゃ!

忍者の基本!
手裏剣をマスターしよう!!



忍術その5

抜け穴から
脱出するのじゃ!

お城が攻め込まれた!
抜け穴から脱出しよう!

こども 忍者に 変身じゃ!



記念撮影コーナーも
あるよ!

修行その1

忍術サイエンスショー

忍者の術を科学的に解明!?
楽しく学べるサイエンスショーを開催します。

第1回目 11:30～ 第2回目 14:00～

(※各回20分程度)

修行その2

忍者のことを知るべし!

忍者の行動や道具を科学的に解説した
パネルを展示します。



高松市こども未来館

〒760-0068 香川県高松市松島町一丁目15番1号
主催 高松市こども未来館
受託事業者 株式会社ネオビエント

イベントのお問い合わせはこちら
(株)ネオビエント TEL.088-657-7511

※イベントの内容は変更となる場合があります。予めご了承ください

想像!創造!大变身!

身近なものをアートに!!

日時: 2018.12/22(土) & 23(日)

場所: 高松市こども未来館 (高松市松島町1丁目15-1)

※対象は中学生以下 (小学3年生以下は保護者同伴)

写真撮影とCGに挑戦!

10:00~16:00 (最終受付15:45)

会場: 1階多目的室

CG技術を使って、高松の街並みや景色、イルミネーション、または自分で描いた絵の世界に入ったみたい!? 広告や雑誌づくりに使われている最先端技術を実際に体験してみよう。

撮影・合成した写真は、プリントアウトしてお持ち帰りいただけます。申し込み不要、直接会場へお越しください。ただし、混雑時にはお待ちいただく場合があります。※材料がなくなり次第終了します



合成してみると...
そこはふしぎな世界...



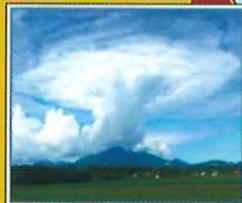
身近なもので想像!創造!大变身!

アートチーム

思い出を彩るお手伝い

講師: ティクスワークス(アルバム大使)

ふだん目にするものをアートに変身♪
家や学校などで目にしているものの写真に、ひと工夫。何気なく見ているものを、自分の作品に変身させちゃおう!



① 11:00~12:00

※当日先着

② 14:00~15:00

10組限定

会場: 1階体験学習コーナー

(当日10:00~会場前にて整理券を配布します。)

ロボット動物園

6匹のホビーロボットが来場するよ!
楽しく、やさしくふれあってね♪

10:00~16:00 会場: 1階多目的室

参加無料

こども 未来館まつり 2018

作って体験!

「びっくり!」「ふしぎ!」「おもしろい!!」

2018.11.23

金 祝

10:00-16:00

高松市こども未来館 1階

カラフルでかわい
い
マーブリング体験



どんなお花が咲くかな?
種だんご
づくり



どこまで飛ぶかな?
傘袋飛行機 &
ロケット



まわして楽しもう!
ブンブンゴマ &
吹きゴマ



- 対象:中学生以下(小学3年生以下は保護者同伴)
- 申し込みは不要です。直接会場へお越しください。
- 受付は当日先着順です。最終受付15:45
- 材料がなくなり次第終了です。
- 混雑時にはお待ちいただく場合があります。
- 汚れてもよい服装でお越しください。

祝!
開館2周年!



主催
高松市こども未来館
香川県高松市松島町1丁目15-1

イベントのお問い合わせ
087-813-5011
(9:00~18:00)
受託事業者:株式会社プラス・エー

桜咲く季節、作って楽しい体験イベント

参加
無料

サクラサク ミライエ

3月23日(土)・24日(日)
10:00 ~ 16:00

高松市こども未来館 1階

(高松市松島町1丁目15-1)

対象は中学生以下

(小学3年生以下は保護者同伴)



kitpas.

キットパスで サクラサク ワークショップ

手形アートで大きな桜を咲かせよう(自由参加)
希望者には、手形スタンプができる紙を用意して
います。記念にどうぞ!(各日先着100名)

時間 各日10:00~16:00

講師 かがまんまるポケット
山本りゅうたろう先生
(キットパスアート高松校)



和三盆をつくろう

桜や春の菓子木型を使って

和三盆干菓子をつくろう!

時間 午前の部 11:00~/11:30~
◎10時から整理券配布
午後の部 13:00~/13:30~
◎12時から整理券配布

※整理券は会場前の受付で配布します。
(当日先着順、定員になり次第締切)

定員 各回10名※1人3個までつくれます

講師 和三盆体験ルーム「豆花」
上原 あゆみさん



さくらバッジを つくろう

桜の形をした間伐材に
好きな色をぬったり絵を描いたりして
オリジナルバッジをつくろう!

時間 各日10:00~16:00

定員 各日250名まで



主催 / 高松市こども未来館 イベントの問い合わせ先 / 受託事業者 株式会社ネクサス Tel.087-832-2511 (9:30~18:00 土日祝除く)

●事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。●受付は当日先着順です。●混雑時にはお待ちいただく場合があります。●汚れてもよい服装でお越しください。

高松産ごじまん品6次産業化等支援事業（農林水産課）

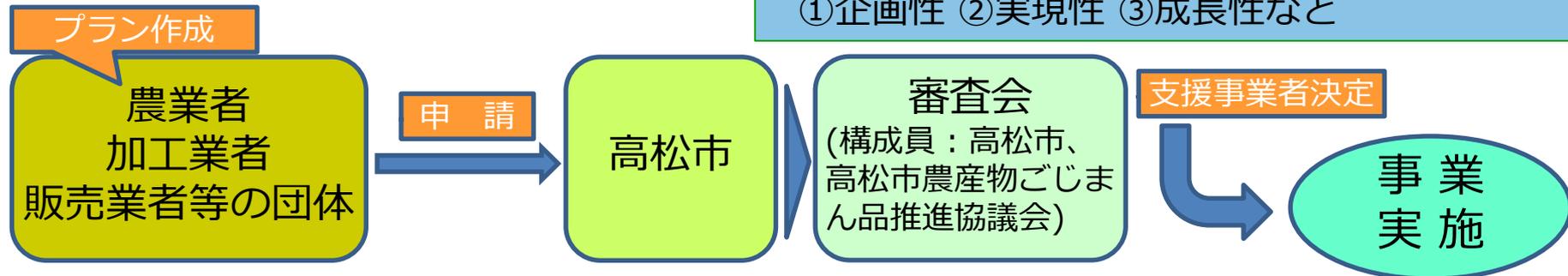
【平成30年度予算額：2,500千円】

事業概要

本市農業の6次産業化や農商工連携を促進し、農産物の高付加価値化とブランド化を図るため、高松産ごじまん品等の「新たな加工品やサービスの開発」に対して補助金を交付し、農業者等のチャレンジの実現をサポートする。



事業スキーム



事業内容

1. 補助率および補助金額

定額助成：1事業あたりの上限500千円

2. 事業(応募)対象者

- ① 市内で農業を営む者
- ② 農業者等で組織する規約等を有した任意団体
- ③ 前2号と連携して農商工連携を行う法人

3. 審査方法

審査会で申請者のプレゼンテーションを実施し、支援対象者を決定

【審査項目】

- ① 企画性
- ② 実現性
- ③ 成長性など

事業イメージ

これまでの「高松産ごじまん品」の取組を活かした「6次産業化や農商工連携の取組の加速化」により、①農業所得の向上 ②地産地消やブランド化の一層の促進 ③地域の活性化が必要

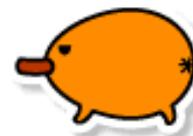
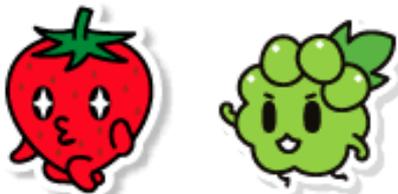
農業所得の向上



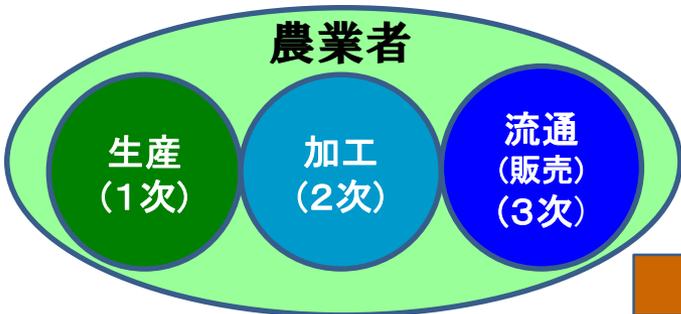
地産地消やブランド化の一層の促進



地域の活性化



取組の加速化



〈6次産業化〉



高松産ごじ

まん品の活用

農業者

連携

商工業者

〈農商工連携〉

『創造性豊かで持続可能な農業』の実現！

H30年度事業実績等

(単位：円)

事業実施主体	取組の概要	対象事業の内容	対象事業費	補助金	事業の成果等
食品製造・販売業者(洋菓子)	真空包装機を使用し、トマトをコンポートにして販売。	真空包装機の導入	660,000	500,000	トマトのコンポートを試作。コンポートしたトマトで作ったジェラートの販売も検討中。
農業法人	キウイフルーツを加工し、青果物が無いシーズンにかき氷やジェラートを開発し、販売。	アイススライサー、冷凍・冷蔵庫、密封包装器等の導入	605,242	500,000	冷凍したキウイフルーツをジャムに加工し、かき氷に乗せてイベントで販売。ジェラートを市内の居酒屋で販売。
食品製造・販売業者(洋菓子)	高松産の茶葉と乾燥果実を組み合わせた「フレーバー緑茶」の販売に向けた、商品開発・市場調査。	試作費、パッケージデザイン費、PR映像制作費、市場調査費	541,274	500,000	商品の市場調査結果を踏まえ、商品の味や色を調整した。今後は進物品としてスイーツ等と組み合わせ、販路拡大を行う。
ベーカリー・カフェ店経営者	ソラマメを惣菜・パン(ファラフェルなど)に加工し、販売・提供。	オーブン等の導入	537,950	500,000	ソラマメを男木島産のタマネギとハーブとともに調理し、中東風豆コロッケに加工。外国人観光客からも好評。
計			2,344,466	2,000,000	

トマトのコンポート



キウイかき氷



フレーバー緑茶



ソラマメのファラフェル



交付金の区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄				回答		
		名称	区分	意見	意見・質問			
推進交付金	1	「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進	有効と考えた理由	1件	移住促進事業の各取組には一定の参加者がおり、HPの閲覧件数も増加していることから、一定の評価ができる。			
			有効と考えなかった理由	0件				
			質問	6件	「移住世帯数増加分」の実績値について、H29年度の2世帯から31世帯へと大幅に増加している。前回、カウント方法に議論があったが、カウント方法の変更があったのか？	「たかまつ移住応援隊」の関わる取組を利用したことのある移住世帯数については、転入者向けアンケートにより把握しているもので、平成29年9月から開始し、カウント方法については現在も変更はしていません。		
					県外からの転入者数増加分がマイナスとなっているが、転入者数の実数を教えて欲しい。	県が公表した平成30年分の人口移動調査報告書によりますと、県外からの転入者の実数は、11,163人となっております。		
					「転入者増加分」は-342人と大幅に悪化している。これについて、どのように分析しているのか？（例えば、どの世代が流出しているのか等）	指標である県外から本市への1年間の転入者数の増加分は、香川県人口移動調査報告を基に、前年度の転入者数との比較により算出しています。平成29年につきましては、地域再生計画策定時の27年との比較で、▲4人となっております。30年につきましては、29年との比較で▲338人となっております。▲342人は、その合算値でございます。 総務省が取りまとめている住民基本台帳人口移動報告の本市の年齢別人口動態によりますと、30年度は29年度と比較し、20～29歳は212人の増ではあったものの、0～9歳が▲115人、30～39歳が▲105人、40～49歳が▲90人と大きく減少しております。 このことから、転入者の増加が▲342人となった要因といたしましては、子育て世帯の転入が少なかったのではないかと、また、全国的にみまると、東京都の転入超過は、30年に拡大している状況から、首都圏の雇用情勢が好調である等の理由による東京への一極集中が影響しているものと分析しております。 なお、都道府県別で見ますと、転入者が減少した上位3つの都道府県は、愛媛県からの転入者が▲170人、岡山県からが▲127人、東京都からが▲63人となっております。		
					-342の真の意味・内訳等わかる範囲で教えて欲しい。			
					前回提議した、移住の定着化の指標についての検討状況を教えていただきたい。	定住化の指標については、移住者を特定しなければなりませんことから、設定は困難であるものと存じますが、移住者の定住化につながる取組みは重要でありますことから、移住者が地域に溶け込みやすくなるような取組みを行うなど、移住後のフォロー体制に対する取組について検討してまいりたいと存じます。		
					若者、中高富裕層などターゲットを細分化した取り組みをとしてはどうか。	本市の移住・定住施策につきましては、平成29年3月に策定しました「高松市移住・定住促進方策について」に基づき推進しておりまして、その中で生産年齢人口や年少人口を増やし、人口構成を改善するという本市総合戦略の目的に沿って、「20歳代前半及び20歳代後半～40歳代のUターン層」を「第1ターゲット」、「20歳代前半及び20歳代後半～40歳代のI・Jターン層」を「第2ターゲット」に設定し、また「50歳代～60歳代」、いわゆる「シニア世代」の層については、移住への関心が比較的高いことや、時間的な余裕があり、移住後に地域社会で活躍できる可能性の高い層であることから、「第3ターゲット」に設定し、それぞれに応じた各種施策を展開しているところでございます。 今後、更に効果的な施策展開をしていくため、細分化した取り組みについても検討してまいりたいと存じます。		
			2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策	有効と考えた理由	1件	文化・体験型観光がこれからの主流。国外持ち帰りシステムの普及が必要。外国人の居住人口が増加しており、彼らのネットワークを活用して情報PR発信するのも普及に有効と思います。	文化・体験型観光の推進を目的として、インバウンド・訪日旅行を取扱う旅行会社を対象に、一泊二日の盆栽体験ツアーを実施し、今後ツアーで提案・販売したいとのご意見をいただきました。また、国外持ち帰りシステムの普及につきましては、植物検疫の条件もあり、台湾が大部分を占めておりますが、持ち帰りシステムの円滑化のため、輸送試験を行うことについて支援をしたところでございます。次に、情報PR発信についてですが、香川県盆栽生産振興協議会が作成している高松盆栽のHPがあり、その更新・運営等について支援しております。現在、英語及び中国語での対応をしておりますが、さらに外国人居住者が情報を伝えやすいHPの検討をしたいと考えております。
					有効と考えなかった理由	0件		
質問	1件	事業目的にある産地をコーディネートできる人材の育成について、進捗状況を教えて欲しい。			基本構想に基づく施策・事業を着実に推進するために、香川県盆栽生産振興協議会が中心となって進行管理や効果の検証を行っているところであり、今後、自立運営ができる法人の設立を見据えた運営体制の準備段階であることから、育成についての進捗は現在のところありません。			
3	共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業	有効と考えた理由	3件	香川県の延宿泊者数も目標値を上回ってきている。 ユニバーサルデザインを推進する事業として理解したが、今後は、市民一人一人がユニバーサルデザインを理解し、対象者に対して実践する取り組みが必要と思われる。	・障がい当事者とのコミュニケーション方法を学ぶ 心のユニバーサルデザイン啓発講座を一般市民対象に開催。 ・啓発講座、市政ふれあいトークやUD展などの取組を通じて、 ユニバーサルデザイン理解が深まり実践できるよう、今後も啓発を進めていきたい。 ●心のユニバーサルデザイン啓発講座(あすチャレ！Academy研修)参加者 H30年度 参加者167名（4回開催） R1年度 参加者数58名（R1年8月2回開催）、R2年1月に2回開催予定			
				図形化は非常に有効。また、子供への普及活動も良い取り組み。	・子どもへの普及啓発活動については、UD展や 市内小中学校に啓発パンフレットや啓発動画を配布。 ・四国地方整備局等と連携して 白杖体験やあすチャレ！Academy研修等を親子対象に行ったほか、現在ユニバーサルデザインクイズを開催中。 ・現在市内小学3年生に配布している子ども向け啓発パンフレットの改訂を予定。			
		有効と考えなかった理由	0件					
		質問	0件					

交付金の区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄				回答
		名称	区分	意見	意見・質問	
応援税制 （企業版ふるさと納税）	1	こども未来館わくわく体験事業	有効と考えた理由	2件	子どもの創造力を伸ばす企画の工夫により、目標を超える参加者数となっている。 手作り感もある企画で集客も順調。運営側の工夫は必要だが、連続性のある企画で特定分野を掘り下げていく様なプログラムも有効と思う。	今後も引き続き、子どもの創造力を育むことができるような企画を実施していきたいと考えております。 こども未来館わくわく体験事業の手作り感のある遊び体験プログラムのほか、こども未来館学習体験事業では、年度を通して、実験・ものづくりなどの体験学習を通じて子どもたちの創造力や探究心を育むため、香川高専が科学体験プログラムを実施したり、アートを通じて豊かな情緒や創造性を育むため、芸術士がアート体験プログラム実施したりしており、今後も引き続き、子どもたちが興味を持って楽しめるような企画を実施していきたいと考えております。
			有効と考えなかった理由	0件		
			質問	0件		
2	サンポート高松トライアスロン大会開催事業	有効と考えた理由	5件	30年度は開催されなかったものの、スポーツの国際大会が間近に見られる良い機会となっていると考える。	アジアカップを誘致し迫力あるレースを観戦することで、市民のスポーツへの関心がより高まったのではないかと思います。	
				国内外への知名度向上、経済効果等もあることから、高松市の特色を生かし、更に大きな大会となるように推進してほしい。	市のメインストリートをコースとする大会は、他に類をみないこともあり、参加者から大変好評をいただいております。引き続き、実行委員会と連携し、大会のレベルアップに努めてまいりたいと思います。	
				目標値未達成の「社会体育施設利用者数」について、社会体育施設とはどのような施設が対象となっているのか？	高松市総合体育館や高松市屋島競技場をはじめとする、高松市スポーツ施設条例の別表1に掲げられているスポーツ施設及び同条例別表2にある、高松市立の公園内に設置しているスポーツ施設が対象となっております。	
				健康ブームの高まりにより、民間の施設は増え、スポーツ人口も増えている実感がある。また、施設を利用しないスポーツ（トライアスロンの種目でもあるランニング・自転車など）も盛んになっているように思う。KPI未達成でも、そのあたりを考慮して考えると、有効と言えるのではないかと？	頂きました御意見を踏まえ、さらなるスポーツ人口増加につなげられるよう、適切に運営してまいります。	
				トライアスロンはイベントとして単独で成立しているが、並行したイベントを行うと中止した際の受け皿にもなると思う。	昨年度は大会は中止となりましたが、一般選手対象の前夜祭を変えて、エリート選手も参加する、ウェルカムパーティーを催しました。大会中止の状況にもよりますが、昨年のような状況であれば、他のイベントも中止となる可能性が高いと思われます。並行したイベントであれば、人手や費用面など多方面から実現可能性について判断する必要があります。	
		有効と考えなかった理由	0件			
質問	1件	R1.7月の来場者数（概数）が分かるようであれば教えて欲しい。	実行委員会より、大会開催の2日間合わせて44,200人との報告がありました。			
3	高松産ごじまん品6次産業化等支援事業	有効と考えた理由	2件	農産物販売額は目標値を上回っている。	今年度については、目標値を上回っているものの、自然条件等により生産量も変動することから、目標値を据え置きたいと考えております。	
				農家さんの中には、高齢の方もいらっしゃると思うので、事業継承や新規就農支援にも注力して欲しい。	本市農業の現状を踏まえ、新規就農者等の担い手の確保・育成が最重要課題の一つと捉えており、国の次世代人材投資事業や、新規就農サポート事業を活用して、新規就農者等に対する支援を行っております。	
		有効と考えなかった理由	0件			
		質問	3件	「認定農業者数増加数」の315は全数では？達成度は増加数ではかるのでは？	御指摘の件につきましては、差し替えでの対応をお願いしているところです。すみませんがよろしく願いいたします。なお、認定農業者の増加数は、目標値が2経営体の増に対し、実績値は7経営体の増となっており、達成度は350%となっております。	
		当地名物的な展開をするには特定業者のみの取り組みでは効果は限定的。横展開を前提とした企画はありますか？	御指摘のとおり、農業者のみの取組では効果は限定的である場合が多いと考えられるので、今後は、かがわ産業支援財団等の関係機関と連携して、新たな展開について検討していきたいと考えております。			
考案した製品の売上げがいくらだったか？本当に成功したのかどうか？失敗した場合は何が原因だったのかを確認したのか教えてほしい。	農業者等が開発した商品の売上については、詳細は把握できておらず、PRも含めてまだまだこれから、という段階であります。また、当該事業の上限補助金は50万円で、国や県の事業と比較して少額であり、6次産業化への取組の入口として活用してもらうことを想定しております。今後は、県等の事業を活用した発展的な取組も含め、継続的な支援を実施していきたいと考えております。					